

2024年11月1日

報道関係者各位

株式会社協和企画

## 初診を担当することが多いプライマリ・ケア現場のために 2学会が合同で小児アトピー性皮膚炎に対する手引書を作成

株式会社協和企画（代表取締役社長：高橋直武）は、日本小児皮膚科学会（会長：佐伯秀久）と一般社団法人日本小児アレルギー学会（理事長：大嶋勇成）の合同の委員会が作成した『小児のためのアトピー性皮膚炎の予防と治療の手引き ～小児アトピー性皮膚炎治療・管理ガイドライン 2024～』を2024年11月2日（土）に発行します（敬称略、以下同様）。

小児のアトピー性皮膚炎は、乳児期早期からの発症が多く、アトピー性皮膚炎の診療を専門としないプライマリ・ケア医が初診を担当することが圧倒的に多い現況にあります。一方、発症初期の早期診断・早期治療の重要性がこの疾患でも認識されるようになってきていることから、数多くの領域の疾患をカバーする総合医である小児のプライマリ・ケア医にとって、使いやすい手引書の登場がまたれていました。

本書は、このような背景のもとで初めて作成された小児のアトピー性皮膚炎をみるプライマリ・ケア現場のための手引書で、主に次の3つの特徴を有しています。

### ● 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2024」（ADGL2024）に準拠

本書は、ADGL2024を合同で作成している公益社団法人日本皮膚科学会（理事長：藤本学）と一般社団法人日本アレルギー学会（理事長：海老澤元宏）の編集協力を得ており、副題を「小児アトピー性皮膚炎治療・管理ガイドライン 2024」としています。

### ● 小児のプライマリ・ケア現場を意識して作成

プライマリ・ケア現場で求められる予防的な指導や早期診断、乳児期の重症患者のリスクや合併症など、小児の診療に独自の視点が必要な項目に関しては、より詳細に記述しています。

### ● 独自の臨床的クエスチョンを設定

小児を対象とした外用薬と全身治療薬のシステムティックレビューを独自に行っています。

CQ1) 小児のアトピー性皮膚炎に対して、外用分子標的薬による治療は推奨できるか？

CQ2) 小児のアトピー性皮膚炎に対して、全身性分子標的薬（生物学的製剤および低分子化合物）による治療は推奨できるか？

今後も株式会社協和企画は、本書をはじめとした書籍・雑誌の発行や、プロモーション事業などをとおして、ヘルスケア領域を中心に人びとの最善・最適な選択を支えていきます。

#### <本書の概要>

監修：大矢 幸弘／佐伯 秀久／吉原 重美／成田 雅美      作成：日本小児皮膚科学会／一般社団法人日本小児アレルギー学会  
編集協力：公益社団法人日本皮膚科学会／一般社団法人日本アレルギー学会      ISBN：978-4-87794-240-3  
定価：3,520円（本体3,200円＋税10%）      体裁：B5判、本文128ページ      発行日：2024年11月2日  
※2024年11月18日より、書店での取り扱いを開始いたします。書店にてご注文いただくか、弊社「医書通販サイト」にてお求めください。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
株式会社協和企画 編集事務局 e-mail：me@intage.com

【株式会社協和企画】 <https://www.kk-kyowa.co.jp/>

株式会社協和企画は、ヘルスケア・コミュニケーション・エージェンシーとして、プロモーション事業、エデュケーション事業、コミュニケーション事業、コンベンション事業などを行うインテージグループの企業です。インテージグループの多彩なデータベース・ソリューションを駆使したエビデンスベースのアイデアと、「HEALTHIER DECISIONS 伝わる力で健やかな未来へ導く」という理念のもと、協和企画はこれからも情報を知識に変えて、人びとの最善・最適な選択を支えていきます。

